

授 業 科 目 一 覧

〔共通科目〕

	1 年次配当科目		2 年次配当科目		3 年次配当科目		卒業必要単位数		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
教初 年 育次	0 G U 教 育 フ レ ッ シ ュ マ ン ス キ ル	1 1					1年次前期に履修すること。 修得した単位は、卒業単位数に充当できる。		
教 養	哲 学 倫 理 宗 教 歴 史 文 学 国 語 文 化 経 済 法 学 現 代 社 会 政 治 教 育 生 活 地 球 地 理 心 理	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	物 理 化 学 コ ン ピ ュ ー タ 演 習 健 康 科 学 論 ス ポ ー ツ 科 学 論 ス ポ ー ツ 文 化 論 ス ポ ー ツ ス ポ ー ツ 吹 田 講 義 教 養 特 別 講 義 ○ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 ○イ ン タ ー プ ロ グ ラ ム ○海 外 研 修 リ ベ ラ ル ア ー ツ 入 門	2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2	○イ ン タ ー プ ロ グ ラ ム II ○海 外 研 修 II 人 文 芸 術 基 礎 探 究 人 文 芸 術 実 践 探 究 人 文 芸 術 P B L 学 習 社 会 科 学 基 礎 探 究 社 会 科 学 実 践 探 究 社 会 科 学 P B L 学 習 自 然 科 学 基 礎 探 究 自 然 科 学 実 践 探 究 自 然 科 学 P B L 学 習 ス ポ ー ツ 健 康 科 学 基 礎 探 究 ス ポ ー ツ 健 康 科 学 実 践 探 究 ス ポ ー ツ 健 康 科 学 P B L 学 習	2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2	10単位以上		
	* 英 語 * 英 語 * 英 語 * 英 語	A B C D	1 1 1 1	実 践 英 語 実 践 英 語 実 践 英 語 実 践 英 語	A B C D	2 2 2 2			
	* ド イ ツ 語 入 門 * ド イ ツ 語 入 門	I II	2 2	ド イ ツ 語 応 用 ド イ ツ 語 応 用 ド イ ツ 語 応 用 ド イ ツ 語 応 用	A B C D	2 2 2 2			
	* フ ラ ン ス 語 入 門 * フ ラ ン ス 語 入 門	I II	2 2	フ ラ ン ス 語 応 用 フ ラ ン ス 語 応 用 フ ラ ン ス 語 応 用 フ ラ ン ス 語 応 用	A B C D	2 2 2 2	1外国語4単位（*印の科目を修得）以上		
	* 中 国 語 入 門 * 中 国 語 入 門	I II	2 2	中 国 語 応 用 中 国 語 応 用 中 国 語 応 用 中 国 語 応 用	A B C D	2 2 2 2			
	* 韓 国 語 入 門 * 韓 国 語 入 門	I II	2 2	韓 国 語 応 用 韓 国 語 応 用 韓 国 語 応 用 韓 国 語 応 用	A B C D	2 2 2 2			
					特 修 外 国 語 特 修 外 国 語	A B	2 2		
	* 日 本 語 * 日 本 語	I II	2 2					外国人留学生および帰国子女対象の科目	
	実 務 基 礎	キ ャ リ ア デ ザ イン 入 門 税 務 ・ 会 計 入 門 財 務 ・ 会 計 入 門 不 動 産 学 入 門 不 動 産 学 入 門 不 動 産 鑑 定 理 論 入 門 I T 実 務 入 門 公 務 員 入 門 ス ポ ー ツ 指 導 論 ア ス リ ー ト 指 導 論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生 涯 ス ポ ー ツ 指 導 論 生 涯 学 習 概 論 図 書 館 概 論 博 物 館 概 論 日 本 語 教 育 概 論 行 動 科 学 概 論 行 動 科 学 概 論 A I 活 用 入 門 A I 活 用 入 門	2 2 2 2 2 2 2 1 1	キ ャ リ ア デ ザ イン 入 門 II キ ャ リ ア デ ザ イン I キ ャ リ ア デ ザ イン II A I 入 門 演 習	2 2 2 2	キ ャ リ ア デ ザ イン III 2	修得した単位は、卒業単位数に充当できる。

注) 1. *印の科目は必修科目を示す。
 2. 「リベラルアーツ入門」を修得済み又は同時履修をしなければ、「人文芸術基礎探究・実践探究・PBL学習」「社会科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「自然科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「スポーツ健康科学基礎探究・実践探究・PBL学習」を履修できない。
 3. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、入門Iを修得しなければ、原則として入門IIを履修できない。
 4. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、応用A～Dを履修するには原則として入門Iを修得済み又は、同時履修をしなければならない。
 5. ○印の科目は集中講義を示し、履修するには各科目で実施する説明会への参加が必要である。
 6. 「A I活用入門A」「A I活用入門B」の単位を修得しなければ「A I入門演習」を履修できない。